



川崎大師ロータリークラブ週報

例会場: 大本山川崎大師平間寺信徒会館

例会日: 毎週水曜日 PM12:30

事務局: 〒210-0812 川崎市川崎区東門前 1-15-10 カーサ石井 1F

Tel.044-277-7569 Fax.044-288-8550

URL <http://kawasakidaishi-rc.com/>

E-mail: daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp

第 42 期

会 長 竹中裕彦

副会長 坂東保則

幹 事 岩井茂次

S A A 飯塚元明

第 2022 回 (本年度 第 16 回) 例会 平成 26 年 10 月 22 日 雨

- 司会 飯塚 元明 SAA
 - 点鐘 竹中 裕彦 会長
 - 斉唱 ♪ソングリーダー 石渡 利治 会員
- 「奉仕の理想」

本日のゲストの紹介 竹中 裕彦 会長

桐光学園高等学校 インターアクト顧問 林 直子 様

元国際親善奨学生 内田 夏樹 様



卓話者の紹介 小林 勇次 プログラム委員長

避難・支援ネットかながわ 代表 坂本 建 様

副代表 水谷 利香 様

来訪ロータリアンの紹介 横山 俊夫 親睦委員

川崎RC 大久保 公之 様

神奈川RC 樋口 明 様

今週の花言葉 横山 俊夫 花委員長

デルフィニウム 花言葉「わがまな美人」

ラテン語の「デルフィーヌス」⇒「イルカ」に由来し、つぼみの形がイルカと似ているからと言われています。和名は花形から空を飛ぶツバメに見たてたもので「オオヒエンソウ」と言います。



会長報告 竹中 裕彦 会長

1. 19日佐沼ロータリークラブ創立50周年記念式典に19名で参加して参りました。記念事業は、来年4月4つの高校が統合してできる産業高校への寄付と100%ポールハリスフェロー達成でした。総勢250名の盛大な式典でした。佐藤南三陸町長と布施登米市長ともお話しができた復興の現状を知ることができました。
2. 長島会員にポールハリスフェロー4回目の認証が届いております。
3. 地区大会チャリティーゴルフ大会に参加の皆さまお疲れさまでした。

ニアピン賞 船木さん 70 位賞 白石さん おめでとうございます。

4. 田島支援学校より、学習発表会の案内が届いております。小学部・中学部 10月25日(土) 9:45～13:55 池上の桜校体育館 高等部 11月8日(土) 9:40～13:55 田島の高等部校舎です



幹事報告 岩井 茂次 幹事

- ①3クラブ合同夜間例会の出欠の返事が本日までとなっております。
- ②11月の例会の案内を回覧しております。日時、場所等変更になっていきますので、ご注意ください。
- ③矢野会員が10月9日に八戸南RCにメイクアップされて、バナー交換されましたので回覧致します。
- ④ゆずりは園より広報誌「いくおう」が届いております。回覧致しますので、ご一読ください。
- ⑤他クラブより例会変更のご案内が届いております。メイクアップにお役立てください。



出席報告

前田 良賢 出席委員長

2022	回	57	45	32	13	71.11	%
2020	回	57	47	27	20	57.45	%
前々回の修正・メイクアップ				8	修正出席率	74.47	%

メイクアップ

鈴木(幹)・林・中村(眞)・細谷・坂東
石渡(勝)・永松・渡部 各会員

スマイルレポート(ニコニコボックス)

坂東 保則 副会長

神奈川ロータリークラブ 会長 樋口 明 様

本日はお世話になります。よろしくお願ひ致します。
牛山さん、一昨日は神奈川RCの例会にお越し頂きまして有難うございました。

川崎ロータリークラブ 大久保 公之 様

お世話になります。

遠藤 悦弘 会員

佐沼RC訪問の皆様お疲れ様でした。又、大変お世話になりました。

野沢 隆幸 会員

先日の佐沼RC訪問の折には、皆様にお世話になりました。

横山 俊夫 会員

林先生ようこそ大師へ！アクト説明会では、お世話になりました。

竹田 正和 会員

① 佐沼RC50周年参加の皆様、お疲れ様でした。接待に感動しました。

② 内田夏樹さん無事の帰国なによりです。

水口 衛 会員

- ・矢野さん、先日はごちそう様でした。
- ・佐沼訪問の皆様、お疲れ様でした。

小林 勇次 会員

坂本様、卓話宜しくお願ひ致します。水谷様、林先生ようこそ大師RCへ

船木 幸雄 会員

美しい花、ありがとうございました。

牛山 裕子 会員

林直子先生、神奈川RC会長樋口様 ようこそおいで下さいました。

坂本様、卓話宜しくお願い致します。

岩井 茂次 幹事

①いよいよ寒い季節がやってきました。

体調に御留意いただき、年忘れ家族会を楽しみに、元気に頑張りましょう！

②矢野さん、水口さん、沼田さん、中村孝さん、連日楽しい時間をありがとうございました。飲みすぎと笑い過ぎで、少し体が痛いです。

竹中 裕彦 会長

①坂本様、水谷様、林先生 ようこそ川崎大師RCへ！卓話楽しみにしております。

②来週は、草野球の神奈川大会で例会場がさびしくなるかもしれません。坂東さん、岩井さん宜しくお願い致します。

本日のニコニコのテーマ

「坂本 建 様 本日の卓話宜しくお願い致します。」

長島 亨・坂東 保則・中村 孝・出井 宏樹・前田 良賢・内田 省治

嶋崎 嘉夫・鈴木 昇二 各会員

委員会報告**横山ロータリー情報委員長**

ファイヤーサイドミーティングが 24 日と 27 日の二日間残っております。変更が有りましたら各リーダーに連絡をお願いします。

白石同好会委員長

10 月 29 日（水）に野球の神奈川大会が有ります。皆様応援宜しく申し上げます。

10 月 30 日（木）7 クラブゴルフコンペがグレートアイランドクラブで開催されます。メンバー全員で頑張ってください。

11 月 27 日（木）姉ヶ崎CCにて第一回川崎大師RCコンペを行います。大勢の参加をお待ちしております。

**本日の卓話****避難・支援ネットかながわ代表****坂本 建 様**

私は福島県富岡町に父、母、妻、三人の子供達と一緒に暮らしておりました。2011年3月11日に東日本大震災が起これ、その日の午後9時頃、福島第一原発では冷却水が入らない。第二原発では放射能漏れが起きていることが分かり、翌12日、避難を始めました。アメリカは17日には在日アメリカ人に対して80キロ圏内からの避難勧告を出していました。

震災後の早い時期、避難者から出ていた声としては、他に疑問のある除染よりも避難、生活再建のための賠償を優先して欲しいという要求が多く出ており、放射線物質に関しても拡散せずに、汚染地域に集中管理すべきだという声がかかなり多かったです。

私はボランティア団体神奈川で関わりながら、「避難・支援ネットかながわ」を2013年に立ち上げました。避難区域内外問わず、避難者の声を集められるネットワークを作る必要性が絶対ある、その課題というものに取り組んで行く、避難者が取り組まなければならないと考え、立ち上げました。震災から4年目に入って、関東各県でも避難者団体が出来てきており、今年度は関東圏広域での連携を始めている段階です。今、その一つ、応急仮設住宅の無償提供期間の延長を求める署名をやっています。応急仮設住宅は、その形態が民間賃貸、国家公務員宿舎、UR賃貸、その他の民間借り上げ社宅と多岐に渡っていて、それらの所

管が三つに分かれています。延長期間の通知が届く時期に、避難者は落ち着けない、という日々を過ごして来ました。避難という制約があり入居期間年度更新が3月に通知される例もあり、子供たちの進級・進学、人間関係、(生計のための)仕事を始めるとしても、以前と同じだけの収入であったり、社会的な保障を得るということは極めて難しい、その中で3年半、自立しましょうという声が段々聞こえるようになってきています。ですが、この期間が経ったとしても生活再建に向かえるだけの法整備、それから賠償が遅々として進んでいない状況です。避難者は依然として人生設計を立てられない、そういったままです。

賠償については、区域内避難者に対しては、当初精神的損害賠償、財物賠償が進められてきました。今年になって土地建物賠償指針が出されました。ですが、これらの賠償は新たな土地の建物の購入資金にするには遠く及ばない、避難先で家を建てる金額には及ばないので、仕事の収入に補填する形で、生活の中で消えて行ってしまう状況です。

私達避難者は避難区域以内か、以外か、また、福島県以内か、県外かといった事に関わらず、全ての避難者の意向を汲んだ平等な政策を求めています。

避難当初から子供達の鼻血、喘息の症状が多いと度々耳にしてきました。放射能による健康被害として認められている甲状腺がんについて、113名に発生し半数が手術を受けています。甲状腺がん自体、避難指示がなかった福島市、郡山市、いわき市で特に発症しています。福島県民の健康調査を担っている福島県立大学の鈴木真一教授は子供たちの癌はリンパ節転移が多いと認めています。福島県中では甲状腺がん発症率が震災前の約360倍近く跳ね上がっています。しかし、原因は原発事故による放射能汚染ではないというのが、住民の健康管理の在り方に関する専門家委員会の公式見解です。

避難者は、広島、長崎の原爆被爆者と同等の被ばくを証明するような手帳、それを発行して欲しいと訴えていました。避難者ネット神奈川としてもアンケート実施したことがあります。神奈川県内の回収率が低かったですけれども

それでも7割の近い方達が帰らないでの生活を望んでいるという事が見えました。この帰還の選択をしないという人たちの割合は時間の経過と共に増えている状況です。子供被災者支援法は、帰還・移住両者の立場を尊重し、国民の健康生活再建に支援すべく、設定をされています。支援対象地域には賠償、避難の権利はなく、支援はあります。準支援対象地域は、賠償避難の権利もなく、支援の内容も個別対応で、自治体が要望を出さないと受けられません。

私達原発による避難者は、同じことが二度と繰り返されてはならないと強く思っています。子供たちを守るようにしなければならないだろうと、そういった国を創るにはどうするかと、その為には力を合わせていけるかという事を考えながら、そして私はそれができるように避難者の立場で出来ることを一つ一つ取り組んでおります。

御清聴ありがとうございました。

紙面の都合上、割愛させて頂きました事、ご理解ください。

次回例会 11月8日(水)

移動例会 パシフィコ横浜会議センター

クラブ会報委員会

中村 孝/増田 昌美/牛山 裕子/内田 省治

永松 慎太郎/竹中 裕彦/水口 衛/須山 文夫

スケジュール予定

11月13日(木)

3クラブ合同親睦夜間例会

川崎日航ホテル12階 「西・中の間」

11月19日 会員卓話

宮山 光男会員